

大阪・関西万博輸送における自動運転の実施(検討案)

[自動車専用道におけるEV高速バスによる自動運転の実施]

1. 目的

- ・自動車専用道におけるEV高速バスの自動運転技術の向上
- ・万博輸送における自動運転の実施に伴う社会受容性の醸成
- ・EVバス(再生可能エネルギー一部利用)によるカーボンニュートラルの推進

社会課題の解消

持続可能性の検証

ゼロエミッションの推進

2. 概要

	検討案
実施区間	淀川左岸線2期区間(新大阪駅~会場間シャトルバス運行区間の一部;約4km) ※シャトルバス等のアクセスルートとして暫定整備
自動運転レベル	レベル4相当(運転士は乗務。但し、技術的にはレベル4を目指す)
使用車両	大型EV観光バス(全長12m) 1台
使用設備・技術	カメラ・GNSSアンテナ・LiDAR・磁気マーカセンサ 等
その他	バイオディーゼル燃料で稼働する発電機による充電ほか



[㈱EVモーターズ・ジャパン提供]



車両イメージ

3. スケジュール

